



4月8日、「令和4年春の全国交通安全運動」の一環として、児童が安全に道路を横断できる環境の確保を図ることを目的に、安楽島小学校が「まもってくれてありがとう運動推進モデル校」に指定されました。今後1年間、児童の交通事故防止活動に取り組みます。

指定式では、鳥羽警察署の谷端交通課長から子どもたちに「横断歩道を渡る際は周囲の状況をしっかり確認し、手を挙げて渡りましょう。また、横断歩道で止まってくれた運転手さんにはしっかりお礼を言いましょう」と話がありました。

交通安全運動推進のモデル校に指定されました



4月11日、第46回全国高等学校選抜フェンシング大会・女子フルレ団体で鳥羽高校が全国2位となり、その報告に市長室を訪問しました。

那須杏里選手は「今までで1番いい試合ができてよかった」、新田穂乃香選手は「全国大会の決勝で戦えたことはいい経験になった」、南愛選手は「目標以上の結果となりうれしい」と、それぞれ思いを話してくれました。

中村市長は「結果を聞いた時とてもうれしく鳥肌が立った。今後のインターハイも楽しみにしています」と話しました。

全国高等学校選抜フェンシング大会で全国2位！



3月23日、ヤマト運輸(株)と災害発生時等における物資等の避難所などへの輸送や輸送拠点の運営管理等の支援に関する協定を締結しました。

また、4月18日に(株)グリーンズと災害発生時における災害時要配慮者の避難所および、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と特定されたかたおよびその家族のかたが感染拡大防止を目的とした宿泊施設利用に関する協定を締結しました。

中村市長は「来る大規模災害に備えてこれらの協定を締結することができ、大変心強い」と話しました。

2社と新たに災害時等における協定を締結！



4月1日、鳥羽市地域おこし協力隊に正林泰誠さんが就任しました。正林さんは、東京から答志町(和具)へ移住し、離島における教育の質向上・海洋教育の推進担当として教育の拠点づくりや地域活性化などに取り組みます。

正林さんは「建築を通して人と人との関わりやコミュニケーションの場づくりに取り組みたいと考えており、まずは空き店舗を改修して地域のかたや子どもたちなどが関わる拠点としたい。自分が鳥羽へ来てよかったと思ってもらえるように取り組みたい」と話してくれました。

新しく地域おこし協力隊が就任！